

(様式2)

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 小山町立北郷小学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	5年児童 49名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (こども園・小学校連携) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・パラリンピックの意義や歴史を学ぶと共に、スポーツを楽しむ心の育成を図る。 ・地域連携教育の一環として、来年度1年生になる、こども園の年長児と入学後になかよしペアになる5年生児童との交流を図る。 *コロナウイルス感染症の急激な拡大に対応して、計画していた交流会が、期日に実施できなかった。機会を見つけて実施したい。
取組内容	①児童は交流会実行委員会を組織し、各学級から実行委員を選出する。 ②パラリンピックの意義や歴史とボッチャのルールを学習する。 ③学級ごとにボッチャの試しゲームを行う。 *以下は未実施 ④こども園園児と5年生児童で、交流会Ⅰを行う。(ボッチャのルール等の説明をする。試しゲームを行う。) ⑤こども園園児と5年生児童で、交流会Ⅱを行う。(ボッチャ大会を行う。)



6 主な成果

5年生児童は、園児との交流会に向けて実行委員を中心に計画を立て、準備を進めた。「園児に分かりやすくルールを説明するためにはどうしたらいいだろうか。」「ボールの握り方をどう伝えたら上手に投げることができるようになるだろうか。」など年下の子を思いやる気持ちが持てたとともに自主的に活動する意欲も高まった。

また、ボッチャを初めて体験する子も多く、競技の楽しさや難しさ、チームで作戦を考えるなどの奥深さを感じ取っていた。

さらに、パラリンピックの意義や歴史の説明を受けている際には、熱心にメモを取る姿も見られ、オリンピックパラリンピックについての理解を深めた。

コロナウイルス感染症対策のため、計画した交流会が実施できなくなりとても残念がっているが、今後、機会を見つけて実施したいという意欲を持てた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域連携教育の一環（園小交流）として位置づけた。 • 来年度の1年生（現年長児）と6年生（現5年生）のペアで活動することにより、小1ギャップ解消対策の1つとなることが期待できる。 • 運動量やルールのにも親しみやすい競技であるので、運動の苦手な子にもスポーツを楽しむ心が育まれることが期待できる。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • こども園（他機関）との連絡調整が難しい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域連携教育の一環（園小交流）として、継続する。 • 年間を通して計画的に実施する。